



Home (ホーム)

稲田学園だより NO. 30
平成31年 2月15日
発行人 校長 八木沼孝夫

教育目標 やさしく かしく たくましく 未来を拓く 稲田の子

【めざす子ども像】

- 思いやりがあり、きまりを守る子ども
- 夢や目標をもって、自ら学び続ける子ども
- 心と体がたくましく、最後までがんばる子ども
- ふるさとを愛し、社会や未来を拓く子ども



学園マスコット
“いなっ子”

がんばったなわとび記録会

2月5日(火)の2～4校時に小学校の「なわとび記録会」が行われました。このなわとび記録会に向けて、それぞれの学年では、業間の時間や体育の授業で練習に励んできました。

本番では、それぞれの学年の基本種目と自分にあった選択種目で、それまでの練習の成果を発揮するとともに、自分の自己記録を更新しようと一生懸命取り組んでいました。

当日は、フリー参観とさせていただきましたが、多くの保護者の方々に来校いただいて、お子さんのがんばりを見守っていただきありがとうございました。



練習の成果を発揮する1年生



8の字跳びで新記録を達成した4年生

新入生保護者説明会 新1年生は30名

2月7日(木)、午後2時より新入学児童保護者の皆様を対象とした、説明会を開催しました。

はじめに、校長から須賀川市初の小中一貫教育校「稲田学園」としての教育方針や教育活動、保護者と学校が連携し子ども達を育てる「共育」の大切さ等について説明をさせていただきました。次に、主任児童委員の有馬喜代子さんから、主任児童委員の制度やその役割について説明いただきました。その後各担当から、入学前の準備や心がまえ等について説明があり、最後に稲雲ホールにて学用品の購入をしていただきました。

来年度の新1年生は現在のところ30名の予定です。新入生の保護者の方々におかれましては、忙しい中出席いただきありがとうございました。お子様の入学をお待ちしております。



校長の学校概要説明

学校評議員会開催

2月12日(火)に、第3回『学校評議員会』を開催しました。学校評議員の皆様には、まず、第4校時目の全学年の授業を参観していただきました。その後、校長室で「授業参観を通しての感想」や「次年度の学校教育に期待すること」等について、幅広くご意見等をいただきました。

学校評議員の皆様からいただいたご意見等は、今後の学校経営・児童生徒への教育活動に生かしたいと思います。学校評議員の皆様、大変ありがとうございました。

22日(金)は今年度最後の授業参観 PTA専門部会・全体会も開催

授業参観 13:25～14:10 (5～9年生は14:15)

学年懇談会 14:30～15:20

PTA専門部会・全体会 15:30～16:40

※上履きをご持参下さい。今年度最後の授業参観・PTA関係の会議です。ぜひご参加ください



稲田学園ホームページ <http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/稲田学園>
←左のQRコードからもご覧になれます。

進路確定27名「受験は団体戦」全員の力でがんばろう

2月5日（火）に県立高校Ⅰ期選抜合格内定通知が行われ、本校では19名の内定が確定しました。また私立高校等の入学予定者を含めると27名の生徒の進路が確定したことになります。

高校入試も残すところ、県立Ⅱ期選抜等に11名の生徒の受験が予定されています。よく「受験は団体戦」という言葉が使われます。進路が確定した人たちは、これから受験する人のためにも、学年の雰囲気を良くしたり、励ましたりするなど様々な面でサポートをしてほしいと思います。

県立高校Ⅰ期選抜内定者19名

私立高校入学予定者8名

県立高校Ⅱ期選抜受験者等11名



職員室内で内定の報告をする9年生

田善顕彰版画展表彰式 本校から2名の生徒が表彰される

2月10日（日）、須賀川市民交流センター「tette」において、第30回田善顕彰版画展の表彰式が行われ、本校から、7年の●●●●●さんが最優秀賞（会頭賞・青年部会長賞）に、また同じく7年の●●●●●さんが優秀賞（CCGA現代グラフィックアートセンター賞）を受賞しました。

また、2名の作品を含めて入賞した作品は17日（日）まで「tette」1階のtette通りに展示されています。また、今回の田善顕彰版画展が30回目を迎えたことを記念して、「tette」1階のルーム1-1では、第1回から第29回までの小中学生の最高位の「田善賞」が展示されており、稲田小学校・稲田中学校の児童生徒の作品もありましたので、機会がありましたぜひご覧ください。



最優秀賞の●●●●●さん



優秀賞の●●●●●さん



●●（左）と●●さん（右）の作品



ユネスコ寺子屋募金



ユネスコ協会に届けた児童生徒会役員

3学期になって、児童生徒会が中心となって「ユネスコ世界寺子屋運動」の募金と書き損じはがき回収を行っていましたが、先日児童生徒会長の●●●●●さんと同庶務の●●●●●さんが「須賀川地方ユネスコ協会」に届けました。募金は12,688円、書き損じはがきは93枚集まりました。ご協力ありがとうございました。

ユネスコ世界寺子屋運動は、学校にいけない子どもたちや文字の読み書きができない大人の人たちが「学びの場=寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育の機会を提供する運動です。

今回の募金活動を通じて、皆さんの小さな善意が国際協力・国際貢献につながっていることを考えてほしいと思います。

3学期に入り合格発表の日が続いていた。そんな日は9年生も先生方も朝からソワソワ…落ち着かない様子である。結果は放課後、生徒へ伝達なので、その日の給食はあまりのどを通らないのではないか。合格の知らせを聞いては体いっぱい表す生徒や満面の笑みを浮かべたり、中には感極まって泣き出したりする生徒もいる。一方残念な知らせを聞いて、ショックを受けながらも平静を装う生徒もいる。後者の生徒の姿を見る時ほどつらいものはない。3月14日の県立高校合格発表の日は、全員笑顔で校長室に報告に来てくれることができるよう、受験生を支援していきたいと思う。